

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 木3	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語IV FrenchIV			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	2P18・19+2F27・28	科目分類	外国語科目(フランス語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:松藤 英恵/Eメールアドレス:cinema_naga2@hotmail.com /研究室:全学教育非常勤講師室 /オフィスアワー:火曜日 10:30~12:30/木曜日 14:30~15:30				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標(500文字) 授業のねらい:前期(フランス語Ⅲ)の内容を継続して行います。文法の範囲を広げつつ、後期では、1年次(フランス語Ⅱ)で勉強した時間や道順を尋ねる、レストランで食事をする、買い物をする等の表現に加え、乗り物に乗る、電話をかける、ホテルなどの予約をする等、より実践的なコミュニケーション能力を身に着けます。また、前期に引き続き、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使っの表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。 授業方法:教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオやCD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。 授業到達目標:実際にフランス語圏を旅行したり、生活したりする上で必要な表現を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定3級、フランス国民教育省フランス語資格試験 DELFA2合格できるよう指導します。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)(1300文字) 授業内容(概要):①練習問題オリジナルプリントを使っの文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使っの発音練習、③同じく教科書とCDを使っのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材をを使用したの実践的な会話演習、⑤日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使っのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の5つの要素を網羅して授業を進めます。 第1回 オリエンテーション、第4課 疑問形容詞 第2回 第4課 現在分詞とジェロンディフ 第3回 " ボーヌ地方とワイン 第4回 第5課 受動態 第5回 " 比較級と最上級 第6回 " ローヌ・アルプ地方の文化 第7回 電話をかける時の表現 第8回 第6課 強調構文、中性代名詞の復習、年号の表現 第9回 シャモニーの伝統料理 第10回 乗り物の切符を買う、ホテルの予約を入れる表現 第11回 条件法現在 第12回 条件法過去 第13回 マルセイユとブイヤベース 第14回 口頭試験 第15回 定期試験 ※注意!:上記のEメールアドレスには、一部の携帯電話を使っの送受信が出来ないことがあります。送受信できない場合は、別の携帯電話或いはパソコンのアドレスから送信し直して下さい。				
キーワード	フランス語を使っ、世界にはばたこう!			
教科書・教材・参考書	教科書:前期に同じ、『Elle est gourmande!2(彼女は食いしん坊!2)』(朝日出版社) 辞書:仏和辞典を1冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。 旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべてA4サイズに統一します。			
成績評価の方法・基準等	期末定期試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット等を使っ、フランス語圏の様々な時事問題や文化などの情報に、積極的に触れましょう。			